

沖縄県女性医師バンクホームページ誕生！

—ちょ～っとのぞいてみてごらん♪—

沖縄県医師会女性医師部会長 依光 たみ枝



平成22年5月10日より沖縄県女性医師バンクホームページが開設しました。ちょうど1か月が経過しましたが、仕事に追われ睡眠を優先されている先生方には、ホームページにたどり着くには多大な決心？と時間と関心が必要だとは思いますが、まず<http://www.d-bank.okinawa.med.or.jp/Portal/>を「ちょ～っとのぞいて」ください。

沖縄の太陽を思わせる真っ赤な大輪のサンダンカに、黄金のさなぎから羽化した大きな羽を広げたオオゴマダラが蜜を吸っている？写真が目に飛び込んでくるはず。サンダンカは沖縄の医療界、オオゴマダラはこれから羽ばたく若い医療者を象徴していると、個人的に勝手に解釈しています。

女性医師部会が誕生したのが、3年前の2007年8月でした（資料参照：沖縄県女性医師部会活動）。最初の取り組みは、沖縄県の女性医師のうち離職・休職者の実態調査でした。医療現場から離れた彼ら（男性医師も含めて）に相談窓口を！というのが役員全員の最初の目的でした。

そのためにはメーリングリスト（ML）の作成が必要だとの意見が出され、2ヵ月後の10月には沖縄県医師会女性医師部会設立総会を兼ねて第1回女性医師フォーラムが開催されました。マスコミを通じての呼びかけ、役員が各施設を回っての勧誘のおかげで参加者100名近い盛大な会となり、86名がMLへ登録してくれました。

その後の活動として毎年施設長との懇談会、フォーラム開催以外に、MLを活用して求人情報の提供を行ってきました。しかしMLに登録してない離職者に対しての情報提供をどうしたらいいのか大きな課題でした。

渡りに船で、丁度沖縄県の委託を受け、ふるさと雇用再生特別基金事業の予算を活用するこ

とができ、2009年8月に沖縄県女性医師バンク事業に向け準備が始まりました。

そして、この5月にホームページが誕生！したのです。医師会員でなくとも、また男性医師でもログイン可能ですので、まずホームページをちょ～っとのぞいてみてください。

就業を希望する医師にその条件に添った医療機関の紹介を行うことはもとより、仕事と家庭を両立させるための子育て・家事支援等の各種支援情報を随時提供し、更に相談員が個々の相談に対応することにより、医師が安心して働くことができるよう細やかなサポートが、かわいいイラストで紹介されています。また、医療機関においてはホームページ上に求人情報（無料）を掲載することが可能となりますので、より良い人材を獲得できる機会が増えると期待しております。沖縄県女性医師バンクが、沖縄県の医療界に少しでもお役に立てれば…と願っています。

沖縄県女性医師バンクからのお知らせ

沖縄県女性医師バンクでは

- ▶ 再就業を希望する医師のお手伝いをします
- ▶ 育児支援や生活支援に関する情報を提供します
- ▶ 医師の求人募集を紹介します

まずは、お気軽にご相談ください

- ▶ 相談員が個々の相談に対応します
- ▶ 医療機関からの医師の求人情報を代行して紹介します

MENU	Contents
再就業支援	再就業・再研修の情報提供や相談
育児支援	保育に関する情報提供や相談
生活支援	掃除・洗濯、子供の世話等、家事支援の情報提供や相談

このたび、ホームページを開設しました

- ▶ URL : <http://www.d-bank.okinawa.med.or.jp/Portal/>



沖縄県女性医師部会活動状況

日 時	内 容
H19.8.21	沖縄県医師会女性医師部会発足
	女性医師部会の目的 役員会では、男女共同参画社会の実現、女性医師の積極的参加による医師会活動の活性化及び女性医師の交流の場として、より良い働く環境の整備ができるよう検討を行う。
H19 年度	役員会の開催 (3回) 女性医師が家庭と仕事を両立できるよう勤務環境の整備について意見交換を行った。また、育児や産休等で休んでいる女性医師の現状を把握できるよう女性医師名簿への登録を促し、情報提供の場としてメーリングリストを立ち上げた。登録者数86名。(H22.1月現在166名)
H19.10.20	第1回女性医師フォーラムの開催 (沖縄県医師会女性医師部会設立総会) 「これからの女性医師の役割、そして女性医療と漢方」と題して、千葉県立東金病院副院長の天野恵子先生にご講演いただいた。フォーラムでは、託児室を設置し、育児中の女性医師が参加しやすい環境整備に努めるとともに、講演終了後に懇親会を開催し、女性医師の交流に努めた。参加者は95名(うち女性医師84名)
H20 年度	役員会の開催 (2回) 女性医師の勤務環境の充実整備に向けた取り組みについて意見交換を行った。また、女性医師の就業支援や相談窓口等の充実を図るため、ゆいまーるプロジェクト(離島へき地医師派遣等)との連携を強化した。また、女性医師の復職支援部門のネットワークづくりを目的に、新たに琉球大学医学部附属病院に設置された専門研修センターとの連携を開始した。
H20.9.10	女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会の開催 女性医師の働きやすい環境づくりへの取り組みとして、標記懇談会を開催し、公的・民間病院を含めた施設の責任者・事務長等多数参加のもと、各施設での取り組み等について活発な意見交換を行った。参加者は40名(院長16名、女性医師5名、事務方10名、女性医師部会9名)であった。 当懇談会を企画するあたり、県内病院長に「女性医師の勤務環境整備に関するアンケート調査」を実施した。

H20.10.4	第2回女性医師フォーラムの開催 「女性医師支援の流れと私達の取り組み」と題して、日本医師会医師再就業支援事業マネージャーの保坂シゲリ先生にご講演いただいた。当日は、昨年同様、託児室を設置し、育児中の女性医師が参加しやすい環境整備に努めると共に、フォーラム終了後に懇親会を開催し女性医師の交流に努めた。参加者34名。
H21 年度	役員会の開催 (2回) 小委員会 (1回) 女性医師の再就業支援・再研修支援に向けた取り組みについて意見交換を行った。 また、平成21年8月より、沖縄県の委託を受け、ふるさと雇用再生特別基金事業の予算を活用して、沖縄県女性医師バンク事業を開始した。 具体的には、沖縄県医師会内に女性医師専用の相談窓口を開設(相談員2名配置)し、女性医師からの再就業支援や再研修支援、育児支援に関する相談業務を担うこととしている。現在、マッチングサイトの構築に向けて準備を進めている。
H21.9.10	女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会の開催 昨年に引き続き、公的・民間病院を含めた施設の代表者や事務長、女性医師等が多数参加し、女性医師が就労継続を困難としている点について、女性医師・病院の視点から、それぞれ問題点を挙げて貰い、自由な意見交換を行った。参加者は49名(院長が16名、医師8名、事務方15名、女性医師部会役員10名)であった。 懇談会を企画するにあたり、部会役員が県内4ヵ所の病院(公的病院含む)、計10名の女性医師からレポートで得た就労環境に関する悩み等を報告した。 また、県内94病院(公的病院含む)を対象に「女性医師求人・復職研修支援に関する調査」を行った。調査では施設における女性医師の常勤・非常勤の割合や育児中の女性医師の勤務や受入経験、また、勤務条件や女性医師へのサポート体制等について現況を伺い、その調査結果をもとに問題提起した。
H21.10.3	第3回女性医師フォーラムの開催 県内の「子育て世代女性医師」、「子育て終了世代女性医師」、「子育て中の女性医師の夫である男性医師」をシンポジストに、仕事と育児の両立等について発言いただき、その後ワークショップを企画し、女性医師が抱える諸問題の解決や働きやすい勤務環境整備等について、女性医師の生の声を伺い、全体討論で意見を纏めた。参加者は医師48名(院長、副院長8名)、研修医14名、医学生3名、女性医師部会役員11名、その他一般等8名を合わせ計84名であった。うち男性も14名(医師12名、研修医1名、一般1名)参加があった。